

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光型ホテル （営業担当）	販売量の動き	・修学旅行の増加や、若年層の客の増加により順調に推移している。台風によるキャンセルも少なく、前年比で増加、目標値も達成している。
		観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・宿泊人数で48%増。個人客が大幅に伸び、室料客単価も1.8%増。特に家族旅行が増加傾向にある。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・施設利用者数は、3か月前の平成18年6月は前年同月比で97.3%である。今月は9月24日現在で100.8%である。6月、7月と前年同月比で落ち込んだ入域観光客数は8月には回復、9月は更に回復している。来園者は、家族連れ、大学生、カップル等が中心である。
		その他のサービス[レンタカー]（営業担当）	来客数の動き	・旅行代理店からの送客件数が、前年比110%と順調に推移している。特に9月は県外からの学生の利用が伸びている。
やや良く なっている		百貨店（担当者）	販売量の動き	・昨年の9月は2度にわたり台風接近の影響があったので、今月はその反動が出ている。しかし、8月に若干苦戦を強いられていた衣料品全般が回復基調にあり、最終的には店舗全体で前年比4～5%の増加が見込まれる。特に衣料品好調の要因は例年よりも早い気温の低下にある。また、6～8月と苦戦した紳士衣料の回復が大きい。衣料以外においても食品、住居関連が依然として好調であり、来客数増とあわせ単価上昇の効果が高い。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・中高年の男性が増えているようで、酒のつまみ等がよく売れる。
		その他飲食[居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・20日以降から例年落ち込むが、今年は若い観光客が多く来店している。地元客はほぼ例年どおりである。
変わらない		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価は前年並みで推移しているが、来客数の減少が売上の減少に直結している。他業態も含む競合店の出店による来客数減が最大の要因であり、商圏内の固定客や流動客の減少傾向が続く。
		家電量販店（従業員）	客の様子	・運動会シーズンを迎えてビデオカメラの売行きも好調ではあるが、高級な物よりは廉価な物が好まれ、更に値引きやサービス品の要求がある。
		高級レストラン（営業担当）	販売量の動き	・9月の最大の集客時に台風の影響で予約キャンセルが多発した。台風の襲来が数日前後していれば、今月は好調な見込みであった。
		観光型ホテル（商品企画担当）	来客数の動き	・9月の稼働率はほぼ前年並みだが、連休時の台風でキャンセルなどの影響は受けている。
		通信会社（店長）	来客数の動き	・10月末の番号ポータビリティを迎え、客の買い控えが見受けられる。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・限られた客を、料金の低下によって取り合う状況にある。
やや悪く なっている		一般小売店[衣料品・雑貨]（経営者）	販売量の動き	・前年同月比95%と売上が減少している。8月下旬の反動か、あるいは9月上旬が前年同月と比較して70%と落ち込んだ影響か、月全体で落ち込んでいる。団体客がショッピングから離れている状況が要因だと考えられる。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・商圏内に、ここ1年で同系列のコンビニを含めて4件のライバル店が出現した影響で、売上が約20%減少している。
		その他専門店[楽器]（経営者）	販売量の動き	・売上が前年より15%以上減少している。観光客は増加しているとはいえリピーターの増加もあり、客の行動に変化がある。
		その他専門店[書籍]（店長）	来客数の動き	・来客数が前年同月比で98%になっている。客単価は前年同月比では若干上昇しているが、前月と比べると結構減っている。
	悪く なっている			

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格や受注価格が高額化している。
	変わらない	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注価格自体低減化傾向が続いている上に、法人系サービスでまとまった受注が少ない。ただし、消費者向け光インターネットサービスはある程度の水準を保ちつつ伸びている。
		会計事務所（所長）	受注量や販売量の動き	・雑貨の輸入業者では小売業者からの発注量が減少しており、単価についても厳しい条件設定を要請されている。
		コピー業（代表者）	受注量や販売量の動き	・景気が良くなっていると耳にするものの、印刷業は不況業種である。営業を入れて売上を伸ばそうとはしているが、なかなか当月の目標を達成できない。
	やや悪く なっている	輸送業（営業・運営担当）	受注量や販売量の動き	・燃料費高騰等によるコスト増などの取引先の環境の変化により、コスト改善の取り組みが物流費の削減となっている。そのため、取引の縮小・終了が発生しており受注量が減少している。
悪く なっている	-	-	-	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・先月も求人数は多くなっていたが、9月に入り、更に増えてきている。業種も医療関係の求人が多かったが、沖縄では少ない分野である製造業からも依頼が入るようになっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月から8月への変化をみると、新規求職者申込数は4,983人から4,266人に、月間有効求職者数は19,483人から17,774人へといずれも減少している。前年同月比ではそれぞれ12.2%、7.6%減少している。新規求人数は3,419人から3,928人、月間有効求人数は10,169人から10,887人へといずれも増加している。前年同月比ではそれぞれ9.8%、17.8%減少している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・IT系の求人は一段落した感がある。県内求人を中心に開拓しているが、IT系以外の業界も積極的な採用の動きがある。
	変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数の動きがあまり変わっていない。
	やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	-	-	-	